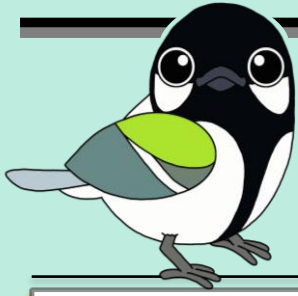


しじゅうから



小鳥の森で観察してみよう 133

アカハラ

分類：スズメ目 ヒタキ科

大きさ：23～24cm

鳴き声：キヨロン、キヨロン、チー

見られる時期

・4月下旬～5月上旬（渡りの時期だけ）

小鳥の森で見られる場所

・園内全体（開けた環境を好む）



さなだ ゆい さん（10才）が描いてくれました。

5月 いきもの森予報

今年も子育てが始まります

葉の芽吹きが一気に進み、森の緑が濃くなる5月。夏鳥の声がにぎやかになる季節です。「夏鳥」とは、春に南から日本へ渡ってきて子育てをし、秋に南へ帰る野鳥のことを言います。

この時期、夏鳥を始めとする野鳥たちは子育てのパートナー探しで大忙し。オスは「さえずり」と呼ばれる特別な鳴き声でメスにアピールします。県の鳥「キビタキ」は、森に到着するとすぐにピッコロのような「ピーリッ・ピッピリリ」と澄んだ声を聞かせてくれます。他にもオオルリ、クロツグミ、コサメビタキなどの声が初夏の森に響き渡るでしょう。

一年中見られるシジュウカラやヤマガラも懸命に子育て中。森を歩いているとヒナに与えるイモムシなどをくわえた親鳥に出会えるかもしれませんね。万が一、地面にいるヒナを見つけても、拾わずそっとしておいてあげてください。親鳥が近くで見守っていますよ。



キビタキ



シジュウカラ

あつという間の春

例年よりも急に暖かい春が訪れ、森の生き物たちの目覚めが早かった4月。植物が花を咲かせる時期も早かった印象がありました。

小径沿いでは、紫色のスミレ類やピンク色のツツジがいっせいに咲き、春の色合いで鮮やかになりました。

また、園内のあちこちにあるヤマブキがひときわ目をひいていました。ヤマブキは高さが1~2mの低い木で、弓のようにしなやかに曲がる枝全体に3~5cmの黄色の花を咲かせます。昔から日本人になじみのある花で、万葉集にも登場しています。最初は山から吹く風に揺れる様子から「やまぶり」と呼ばれていました。そこから言葉が変わり「ヤマブキ」となったようです。

今年の春はあつという間に過ぎ、早くも初夏の生き物たちが動き出していました。



マキノスミレ



ヤマブキ

スタッフだよ!

いつもと違う「春の訪れ」

2023年の春は今までにないスピードでやってきました。福島市の桜(ソメイヨシノ)の開花宣言は3月24日で、気象台が観測を始めてから一番早い発表になりました。

小鳥の森では、カタクリが例年より10日ぐらい早い3月末には満開になり、4月5日にはほぼ咲き終わる早さでした。これは、今年3月の平均気温が平年よりも3.6℃も高かったことが原因のようです。また、4月11日には今年初めての夏日(最高気温が25℃を超える日)を迎えました。私たち福島人だけでなく、生き物たちにも驚きの連続だったのではないのでしょうか。

新緑や春の花、木々の葉が茂る前に小鳥の姿を観察しようと楽しみにしている方々は、お早めに小鳥の森へお越しくださいね。

(アシスタントレンジャー
げんまいちろう)

お知らせ

バードウィーク特別企画 鳥・とり・TORI

5月21日(日)に愛鳥週間に合わせて野鳥に関するイベントを開催します。

野鳥への理解や関心を持っていただききっかけづくりを目的としており、バードウォッチングやクイズラリー、巣箱づくりや缶バッジ作りなど、この日だけの特別企画を用意しております。

皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：5月21日(日) 9:00~11:30

対象：どなたでも

参加費：缶バッジ、巣箱は各材料費
100円

申込方法：お電話にてご確認ください。

※バードウォッチングと巣箱づくりは
事前申し込みが必要になります。

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分~午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2023年5月号№444/企画・発行：福島市小鳥の森/NPO法人野鳥の会ふくしま 小鳥の森HP

